



ご存じですか？ 日本学術振興会特別研究員 -RPD 制度

キャリアパス委員会 RPD(Restart PD) 制度に関するアンケート (2013 年) より

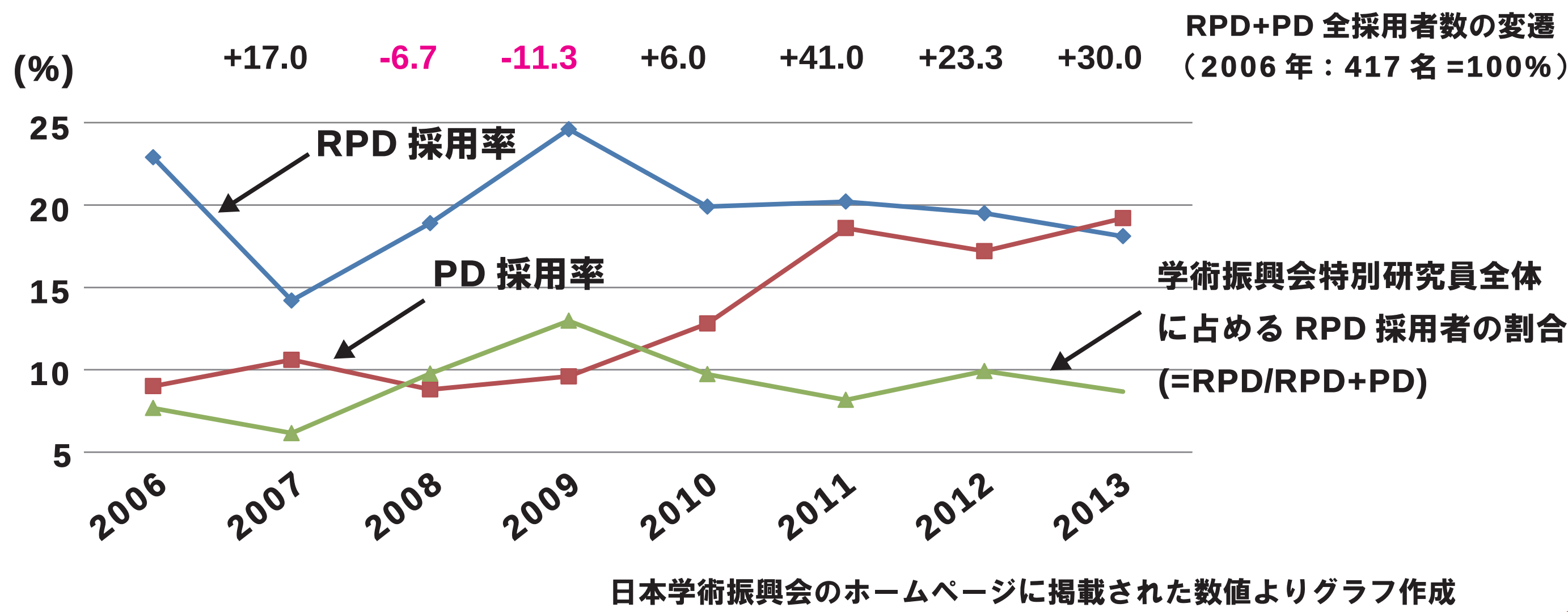
特別研究員 -RPD 制度：

RPD* 制度とは、子育て支援や学術研究分野における男女共同参画の観点から、優れた若手研究者、特に、出産・育児による研究中断を経た研究者の円滑な研究現場復帰を支援する事業として 2006 年(平成 18 年度)に発足した学術振興会の事業です。過去 8 年間に、計 337 名の方が RPD 制度に採択されました。

2011 年(平成 23 年度)より採用期間が 3 年間となった他、研究者の要望に即するよう、制度そのものや応募要項には毎年のように様々な改善が重ねられてきています。

*RPD, 研究活動を再開(Restart)する博士取得後の研究者

採用状況



RPD 制度の概要についてはこちら



http://www.jsps.go.jp/j-pd/rpd_gaiyo.html

応募資格 (平成 26 年度 (2014 年) 採用分募集要項より抜粋・要約)

- ◇ H26.4.1 現在、博士の学位 * を取得している (*、申請時点での見込みを含む。人文学・社会科学分野については別規定あり)。
- ◇ H20.4.1 ~ H25.4.1 の間に、出産又は子の養育のため、概ね 3 ヶ月以上研究活動を中断したことがある。
- ◇ 日本国籍を持っている、または、外国籍であるが日本永住を許可されている。

採用時待遇

- ◇ 採用期間は 3 年間であり、開始日を所定の 4 種から選択できる。
- ◇ 研究奨励金 (給与に相当) と研究費 (特別研究員奨励費) が支給される。

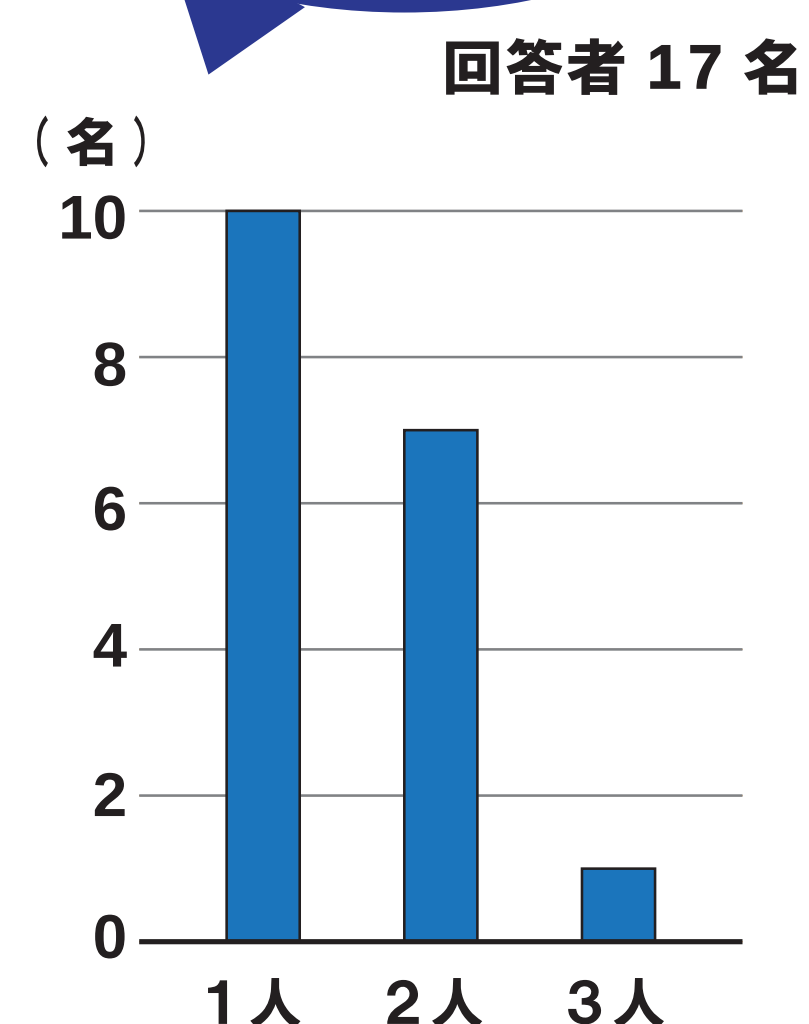
分子生物学会と RPD 制度：

分子生物学会では、RPD 制度の発足のための提言 (2005 年) と、同制度の更なる拡充・推移・弾力的運用等に関する要望 (2007 年) を日本学術会議および日本学術振興会に提出してきました。これまでに RPD 制度に採用された分子生物学会会員は 39 名、自然科学分野における採択者の約 19% を占めます。このことは、会員の中に RPD 制度への応募を検討する方が多いことを反映しているといえます。

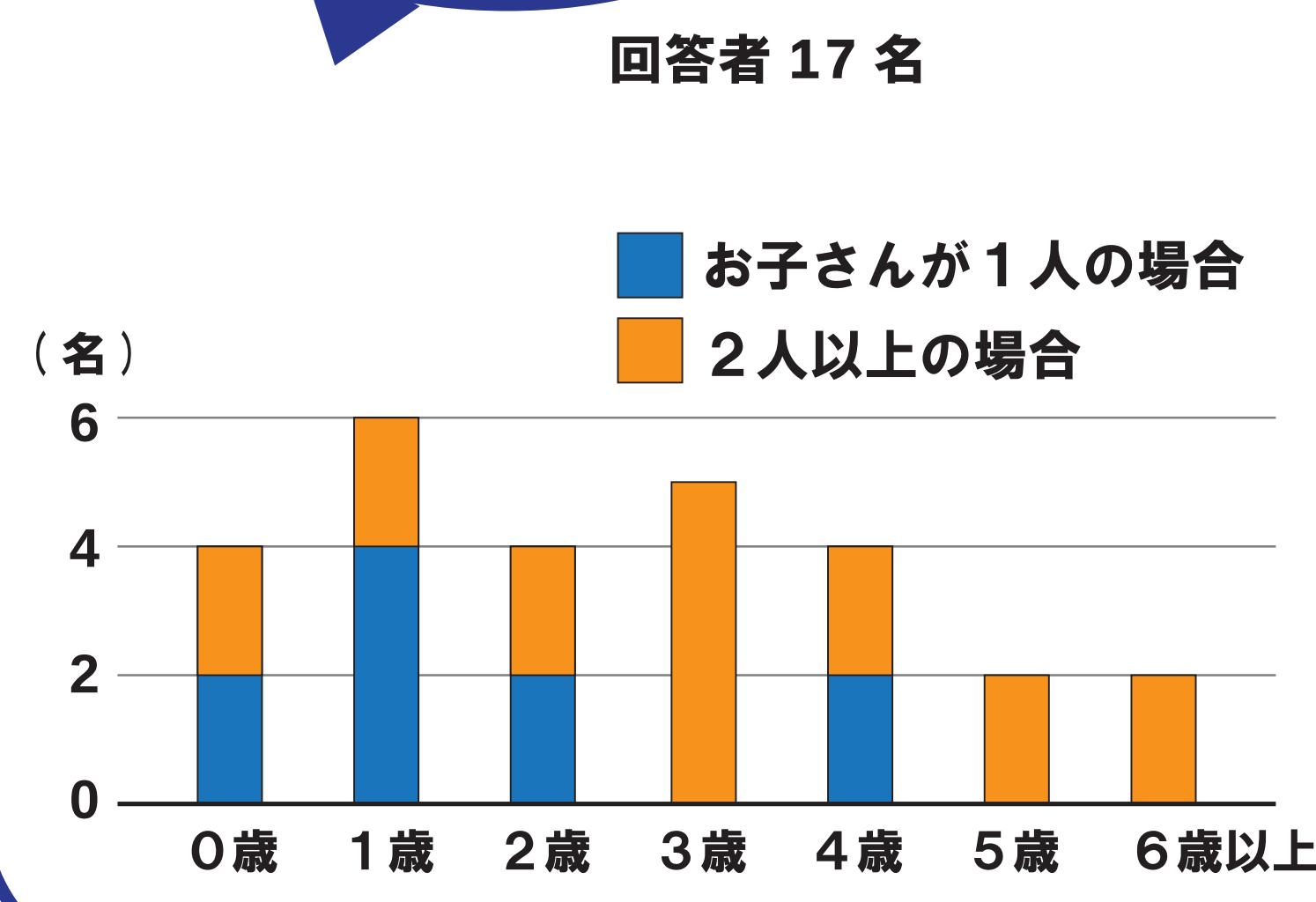
上記の事実をふまえて、キャリアパス委員会では、この夏、会員の中で RPD 制度に採用となった方を対象に調査を行いました。2005 年～ 2013 年に採用された方 31 名に、アンケートをお願いし、17 名 (のべ 18 名) (採用中 9 名を含む) の方からご回答・ご意見を頂きました。今後、頂いたご回答・ご意見を含め、RPD 制度に関する様々な情報を学会ホームページなどでご紹介する予定です。

ここでは、その一部をご紹介します。

採用時、お子さんは何人でしたか？



当時、お子さんは何歳でしたか？



採用時、良かった点は何ですか？

- | (キーポイント) | (回答数) |
|-----------------|--------|
| 年齢制限がない | ●●●● |
| 時間を自主的に使える | ●●●● |
| 研究費・研究内容の自立性がある | ●●●●● |
| 研究者社会での立場を保持できる | ●●●●● |
| キャリアの継続を実感できる | ●●●●● |
| 精神的に良い | ●●●●●● |

制度の長所として、同様の状況 (年齢ではなく) にある申請者の中からの採用であること (●) があげられています。また、育児に必要な時間確保 (●), 研究者キャリアに大切なこと (●, ●) が実現されている、と実感している方が多いことが見受けられます。

応募を検討している方へ

- | (こんな点を活用しましょう！) | (回答数) |
|-----------------|----------|
| 出産・育児を経験できる | ●●●●● |
| 自分の研究が継続できる | ●●●●●●●● |
| (その他) | |
| 長期的ビジョンを持ちましょう | ●●●● |

これからの方へのアドバイスには、制度の特徴を反映した観点 (●) と合わせて、研究者としての意識を鼓舞する意見が多いようです (●, ●)。

採用時、困った点は何ですか？

- | (キーポイント) | (回答数) |
|---------------|--------|
| 身分証明に関する手続き | ●●●●●● |
| 福利厚生 | ●●●●●● |
| 採用中のルールが若干硬直的 | ●●●●● |

制度の短所として、研究実施機関における身分の曖昧さによる弊害 (●) が問題となっています。一般社会における常識と比較すると、年金・保険・健康診断などに関する整備の遅れも憂慮されています (●)。現在のルールでは、他の研究助成金申請が制限されたり、育児期間中に起きる想定外の出来事に対応できないことなど、柔軟化・改善の余地が指摘されています (●)。

採用前はどんな身分でしたか？

回答者 14 名

- | (職名) | (回答数) |
|----------------------|----------|
| 学術振興会特別研究員 (PD, RPD) | ●●●● |
| 助成金フェロー | ● |
| 流動研究員・非常勤研究員 | ●●●●●●●● |
| 大学教員 (助教) | ● |

現在はどんなご身分ですか？

採用期間を終了した 8 名からの回答

- | (職名) | (回答数) |
|--------------|--------|
| 大学教員 (講師・助教) | ●●●●●● |
| 流動研究員・非常勤研究員 | ● |
| その他 | ● |
- 任期制・更新あり
- 現職での研究を継続したい

アンケート結果より

ご協力くださった方々、貴重なご意見をありがとうございました。